

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	飼い主のいない猫不妊去勢手術費助成事業				
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係	課長名 宮鍋 和志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。			施策番号	2 - 1	-
【施策名】 保健・医療の充実			総合計画書 (ページ)	47	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 2 予防費	事業 3 飼い主のいない猫対策事業費
-----	---------	-----------	---------	--------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内に生息する飼い主のいない猫	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内に生息する飼い主のいない猫頭数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 不妊去勢手術の助成を行うことにより、飼い主のいない猫の増加を防ぐ	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 不妊去勢手術をした飼い主のいない猫の頭数 (平成28年度までは、飼い犬、飼い猫も対象だった)
	③ そのために何をしましたか。 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の助成助成制度の周知	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 助成頭数 (平成28年度までは、飼い犬、飼い猫も対象だった)

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	頭	不明	不明	不明	
	成果指標	②の数値	頭	264	108	92	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	※手術を必要とする飼い主のいない猫の頭数が把握できないため設定が困難である。				
活動指標	③の数値	頭	犬 96 猫 168	不妊 65 去勢 43	不妊 47 去勢 45		

3 経費	事業費(実績)		円	626,000	508,998	709,768	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	556,000	184,922	355,768	
		特定財源	円	70,000	324,076	354,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.01	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	82,670	1,650,600	1,648,800		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0		
事業費+人件費		円	708,670	2,159,598	2,358,568		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 犬や猫のむやみな繁殖を抑制し、公衆衛生及び公共の福祉の向上を図るため、平成15年度より開始。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 猫の避妊・去勢に対しては、平成19年度から東京都の医療保健政策区市町村包括補助事業(飼い主のいない猫対策 補助率1/2)の対象事業となった。平成29年度から助成対象を飼い主のいない猫に限定し、助成額を増額した。

仕 事 の 内 容	飼い主のいない猫不妊去勢手術費助成事業				
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係	課長名 宮鍋 和志

5 市民等の意見
 この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
 ボランティアで飼い主のいない猫の不妊去勢手術を実施している人がいるが、補助額が満額ではないことが負担になっている。
 また、手術するために猫を捕獲して動物病院へ運搬しなくてはならないが、ボランティアの人で車を持っている人が少なく、運搬方法の対応に苦慮しているようだ。
 手術前後のエサやりやトイレ掃除中に地域猫活動を知らない一般市民から怒鳴られることがあるようだ。市民への周知が課題

6 市民協働
 (1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）

取組んだ	取組手法	⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市報・ホームページ）
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点

7 課題
 (1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容
 地域猫活動ボランティアが市内で活動しやすいように支援する必要がある。
 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
 飼い主のいない猫対策として、他市の飼い主のいない猫関連セミナーへ参加し情報収集に努めた。また、地域猫活動ボランティアとの連携の方法について検討を進めた。
 (3)(2)を踏まえた今後の課題
 現在、個々に活動している地域猫活動ボランティアが、連携して活動し、より市民に受け入れられやすいように支援する必要がある。

8 今後の方向性
 (1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
 ・地域猫活動についての周知（市報、ホームページ、セミナーの開催など）
 ・地域猫活動ボランティアの募集
 (2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
 迷惑なエサやりの人と市推奨の地域猫活動ボランティアの人の区別ができるように、腕章やボランティア手帳など身分表示できるものの用意する必要がある。
 (3)改革・改善案による期待成果
 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------